

北の女性活躍サポート事業【北海道】

個別事業費	6,447 千円
交付金額	3,223 千円

地域の実情と課題

- 1 経営・方針決定の場への女性参画率が低い
管理的職業従事者に占める女性の割合14.4%(全国15.7%)
- 2 正規雇用割合が低い
正規雇用割合 女性38.9%(全国41.9%)
- 3 共働き率が低い
共働き率 45.2%(全国50.9%)

事業の特徴

- 1 経済団体、一次産業団体、女性団体、行政機関が連携した推進体制による情報共有や気運醸成。
- 2 女性の活躍に向けたイベントの開催。
- 3 広域分散型の本道の特性を踏まえた地域における女性活躍のための連携の推進。

事業の効果

- 1 女性活躍の必要性に対する理解が深まり、企業等における仕事と家庭の両立支援や女性の指導的地位への登用などの動きを促進。
- 2 女性が多様な選択をする中で生きがいを感じて生き活きと活躍し、その感性や活力が地域づくりにつながる社会を実現。
【数値目標】女性(25～34歳)の就業率を全国平均以上
R 5:78.9% → R 6:79.9%(全国83.5%)

目的・目標

- 1 活躍したいすべての女性をオール北海道で応援する。
- 2 地域社会全体での女性活躍に向けた気運の醸成や意識の改革を図る。
- 3 特に、本道の産業や地域実情を踏まえた様々な形態での女性の活躍に向け、地域や各分野の取組を促進する。
【数値目標】女性(25～34歳)の就業率を全国平均以上

連携団体

北の輝く女性応援会議(H26.10設置・20機関)

北海道経済連合会、(一社)北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、北海道農業協同組合中央会、北海道漁業協同組合連合会、北海道森林組合連合会、日本労働組合総連合会北海道連合会、北海道女性団体連絡協議会、北海道立女性プラザ、NPO法人北海道子育て支援ワーカーズ、(株)ワイズスタッフ、太田明子ビジネス工房(EZONA)、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、(一社)北海道信用金庫協会、厚生労働省北海道労働局、経済産業省北海道経済産業局、北海道市長会、北海道町村会、北海道

今後の課題

女性の管理職登用率、就業率、男性の家事・育児参加時間などが全国平均に比べて低く、いわゆるジェンダーギャップが生じており、その背景には、依然として固定的な男女の役割分担意識や、アンコンシャスバイアスが根強くあることから、女性の社会参画をさらに推進するため、道民、企業団体の意識改革を図る必要がある。

事業の概要

① トップセミナー

【日時】令和7年3月21日

【事業目的】

オール北海道での女性活躍推進の意識の向上を行う。

【事業内容】

女性活躍推進の気運醸成・意識改革を行うため、北の輝く女性応援会議本会議において、日本医療大学教授 林美枝子氏をゲストスピーカーに迎え、「北の輝く女性応援会議」の発展的改組や共通目標の設定について、参加構成員と意見交換を実施。



② 女性活躍推進セミナー

【日時】令和6年12月13日

【事業目的】

企業の経営層・管理職・女性活躍推進担当者を対象として女性活躍推進の意識改革を行う。

【事業内容】

女性活躍推進の意識向上のため、地域に根ざした具体的事例の講演、パネルディスカッションを通じ、女性の能力発揮に向けた企業の意識改革や実践方法を考える女性活躍推進セミナーを実施。



③ 女性のための異業種交流セミナー

【日時】令和7年1月23日

【事業目的】

企業の女性活躍推進・採用担当者を対象に、「性別に関係なく、さまざまな人が活躍できる経営や組織のあり方」について、理解促進を図る。

【事業内容】

組織で働く女性の活躍を進める先進的な取り組み事例の発表やグループディスカッションを通じ、女性が働き続けることへの理解の促進を図るセミナーを実施。



④ まなび・体験・つながりHIROBA

【日時】令和6年9月14日～15日

【事業目的】

起業を目指す女性を対象に、女性の社会参画を後押しし、社会全体における女性活躍の気運醸成を図る。

【事業内容】

トークセッション、ブース出店、創業相談コーナーを通じて、女性の起業と社会参画を応援するイベントを実施。



事業の概要

⑤ ロールモデル紹介・ポータルサイトでの発信 【事業目的】

様々な分野で活躍する女性等取材し、ロールモデルとしてポータルサイトで発信し、更なる気運の醸成を図る。

【事業内容】

ロールモデルとしてオンラインで発信。
(令和6年度:6件)



⑥ 理系女子学生と道内企業の交流セミナー

【日時】令和7年2月22日

【事業目的】

女性が働き続けられる環境の整備や、女性の採用・登用を進めるために、理解促進を図る。

【事業内容】

女性活躍推進を重視する企業がロールモデルとなり、事例紹介や交流を通じて学生がキャリア形成や仕事と家庭の両立について学ぶセミナーを実施。



⑦ 女性のための災害対応ワークショップ

【日時】令和6年7月30日

【事業目的】

女性の視点から避難所運営に必要な知識を共有し、災害対応や防災への意識を高め、女性の参画を促進する。

【事業内容】

地域で活躍する気象予報士から、能登半島地震での女性ならではの課題などを紹介したほか、女性や子どもの視点に立った避難所運営についての講演や避難所運営のワークショップを実施。



⑧ 男性家事参画促進事業

【日時】令和7年2月2日

【事業目的】

家族での家事分担を進める「とも家事」を推進し、固定的な役割分担意識の解消を図るとともに、性別に関わらず仕事と家庭を両立できる環境づくりに取り組む

【事業内容】

(セミナー)

NPO法人ファザーリング・ジャパン副代表理事 徳倉氏を招き、男性の家事参画を促進するセミナーを実施。

(啓発動画)

家事参画を促進する啓発動画を制作し、HPへ掲載。

(ロールモデル集)

家事に主体的に関わる男性5名を紹介し、彼らの家事に対する考え方や実践例を掲載。

